

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年5月25日(2022.5.25)

【公開番号】特開2021-53093(P2021-53093A)

【公開日】令和3年4月8日(2021.4.8)

【年通号数】公開・登録公報2021-017

【出願番号】特願2019-179080(P2019-179080)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和4年5月17日(2022.5.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動条件の成立に基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて利益を付与する遊技機であって、

演出に関する制御を行う演出制御手段と、

所定の動作態様で動作可能な可動体と、

複数の発光体が実装されるとともに、その実装面に白色塗膜が形成される特定実装基板と

遊技機の状態を検出する状態検出手段と、を備え、

前記特定実装基板は、少なくとも前記可動体に設けられており、

前記演出制御手段は、

前記可動体を前記所定の動作態様で動作させる場合に、前記特定実装基板に実装される複数の発光体を少なくとも3以上の任意の発光領域毎に異なる発光色で同時に発光させる多色発光を行うことが可能であり、

前記可動体を前記所定の動作態様で動作させる場合に前記多色発光が実行され、当該多色発光中に前記状態検出手段が特定状態であることを検出した場合に、前記可動体に設けられる前記特定実装基板に実装される複数の発光体については、当該多色発光を終了させるものの、前記可動体の前記所定の動作態様での動作については、継続させ、

複数の前記特定実装基板とは別に、前記多色発光中に該多色発光とは別の第1特別発光が行われる第1特別実装基板と前記多色発光中に該多色発光とは別の発光であって前記第1特別発光とは異なる第2特別発光が行われる第2特別実装基板とをさらに有し、

前記第1特別実装基板に実装される第1特別発光体については、前記第1特別発光の実行中に前記状態検出手段が特定状態であることを検出した場合に、前記第1特別発光を終了することなく継続し、

前記第2特別実装基板に実装される第2特別発光体については、前記第2特別発光の実行中に前記状態検出手段が特定状態であることを検出した場合に、前記第2特別発光を終了し、

さらに、前記特定実装基板の白色塗膜は、当該特定実装基板に実装される発光体の裏側と対向する実装面の部位にも形成される、

30

40

50

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来より、表示手段で図柄を変動表示して表示結果が特定の表示結果となった場合に所定の遊技価値を付与する遊技機がある。この種の遊技機には複数の発光体が設けられ、表示手段の表示に関連して様々な態様で発光させるようになっている。このような遊技機において、表示結果が特定の表示結果となる期待度が高い場合に複数の発光体を虹色態様（レインボー態様）で発光させる遊技機が提案されている（特許文献1）。

10

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

ところで、上記遊技機では、複数の発光体を虹色態様（レインボー態様）で発光させるに際し、これら発光体が設けられる基板の実装面の態様によっては、発光体の光に対する実装面での反射効率が悪くなり、照度ムラ等が発生するおそれがある。このような照度ムラ等が発生した場合には、虹色態様（レインボー態様）での発光による演出効果が低下し、遊技興趣を低下させるおそれがある。

20

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記した目的を達成するために、本発明においては、

30

始動条件の成立に基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて利益を付与する遊技機であって、

演出に関する制御を行う演出制御手段と、

所定の動作態様で動作可能な可動体と、

複数の発光体が実装されるとともに、その実装面に白色塗膜が形成される特定実装基板と

遊技機の状態を検出する状態検出手段と、を備え、

前記特定実装基板は、少なくとも前記可動体に設けられており、

前記演出制御手段は、

前記可動体を前記所定の動作態様で動作させる場合に、前記特定実装基板に実装される複数の発光体を少なくとも3以上の任意の発光領域毎に異なる発光色で同時に発光させる多色発光を行うことが可能であり、

40

前記可動体を前記所定の動作態様で動作させる場合に前記多色発光が実行され、当該多色発光中に前記状態検出手段が特定状態であることを検出した場合に、前記可動体に設けられる前記特定実装基板に実装される複数の発光体については、当該多色発光を終了させるものの、前記可動体の前記所定の動作態様での動作については、継続させ、

複数の前記特定実装基板とは別に、前記多色発光中に該多色発光とは別の第1特別発光が行われる第1特別実装基板と前記多色発光中に該多色発光とは別の発光であって前記第1特別発光とは異なる第2特別発光が行われる第2特別実装基板とをさらに有し、

前記第1特別実装基板に実装される第1特別発光体については、前記第1特別発光の実行

50

中に前記状態検出手段が特定状態であることを検出した場合に、前記第1特別発光を終了することなく継続し、

前記第2特別実装基板に実装される第2特別発光体については、前記第2特別発光の実行中に前記状態検出手段が特定状態であることを検出した場合に、前記第2特別発光を終了し、

さらに、前記特定実装基板の白色塗膜は、当該特定実装基板に実装される発光体の裏側と対向する実装面の部位にも形成される、

ことを特徴とする。

10

20

30

40

50